

ドキュメンタリーフォトグラファー小松由佳が語る

親子で“平和と家族”を考える フォト・トークイベント

～内戦で奪われたシリアの平和と難民の現在、子育てと取材に奔走する日々、
異文化を持つシリア人の夫との暮らしから見えてきたこと～



©Yuka KOMATSU

2019年9月5日(木)

開催時間：10時～11時30分（開場：9時45分）

会場：横浜市開港記念会館 2階1号会議室（横浜市中区本町1-6）

定員：110人

参加費：大人1,500円、子ども無料 事前申し込み制、当日精算

対象：未就学児と保護者、子育て支援者、一般（大人）も参加可能

主催：子育て・親育てサークル KOTOKOTO

問い合わせ：kotokoto.yokohama@gmail.com

▼お申込みはこちら



©Yuka KOMATSU

ドキュメンタリーフォトグラファー小松由佳が語る 親子で“平和と家族”を考える フォト・トークイベント

～内戦で奪われたシリアの平和と難民の現在、子育てと取材に奔走する日々、
異文化を持つシリア人の夫との暮らしから見えてきたこと～

幼い2人の子を持つ母親でもあるドキュメンタリーフォトグラファー小松由佳さんをゲストに迎え、プロジェクターで小松さんが撮った写真を投影しながら、平和と家族について考えるフォト・トークイベントを、子育て・親育てサークル KOTOKOTO が企画しました。

多文化共生を大切にする横浜市・中区で開催するフォト・トークイベントでは、内戦から8年を迎え560万人が難民となったまま混乱状態が続くシリアを、内戦以前から取材してきた小松さんが、あたり前のようにあった平和な日常が奪われていく様子や、引き裂かれる家族、子どもの目に映る戦争を、写真とともに紹介します。内戦前後のシリアを見つけてきた小松さんだからこそ語れる平和の大切さ、家族の絆を伝え、会場にいる親子と一緒に考えるひとときを過ごします。

困難な状況を受け入れ、避難先の他国で暮らすシリア難民の現在をはじめ、子育てをしながらも、シリアへの取材や自分の使命をあきらめない小松さんの姿に、同世代の母は勇気ももらい励まされることでしょう。また、異文化を持つシリア人の夫との日本での暮らしから見えてきたことなども語ってもらいます。

■小松 由佳 (こまつ ゆか)

ドキュメンタリーフォトグラファー。1982年、秋田県生まれ。高校在学中から登山に魅せられ、国内外の山を登る。2006年、“世界で最も困難な山”と称される世界第二の高峰K2(8611m/パキスタン)に日本人女性として初めて登頂を果たす。植村直己冒険賞受賞(2006年)、秋田県民栄誉章受章(2006年)。次第に自然とともに生きる人間の暮らしに惹かれ、草原や沙漠を旅するうちフォトグラファーを志す。2012年からシリア内戦を取材し、シリア難民の今を伝える活動を行う。著書に『オリーブの丘へ続くシリアの小道で～ふるさとを失った難民たちの日々～』(河出書房新社)。



・イベント・トークショーに出演、朝日新聞、秋田魁新報社、各種業界紙などに寄稿

・テレビ/ラジオ 2017年8月 日テレ NNN ドキュメント「サーメル～子連れ写真家とシリア難民～」出演など

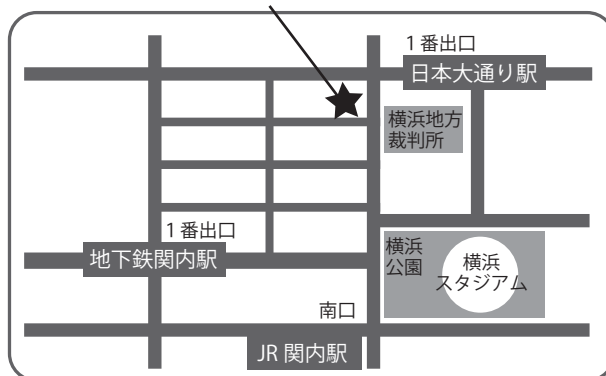
Web サイト：<https://yukakomatsu.jp/Before/index.html>

親子優先席のご案内



会場は全席自由席です。スクリーン前列に床に座れる親子優先席、前列両サイドに車いす、ベビーカー優先席をご用意しています。

横浜市開港記念会館(2階1号会議室)



正面玄関の左手奥の裏門から中庭を抜けるとエレベーターがあります

■子育て・親育てサークル KOTOKOTO (ことこと)

中区・保土ヶ谷区を活動拠点に、未就学児の親子を対象とした子育てサークルを2019年3月に発足。同じ未就学児を育てる現役の母が中心メンバーとなり、月1回ペースで室内・公園などでサークル活動を行う。異年齢交流と見守りを大切にする自主保育を行い、サークルメンバーによる手遊び、絵本の読み聞かせを親子で楽しんでいる。親だけの読書タイムでは感想や子育ての悩みを分かち合い、育児で孤立することなく気軽に相談できる場を提供している。

Web サイト：<https://kotokoto-yokohama.jimdofree.com/>



9月19日(木)
根岸森林公園で外遊び♪
10:00～12:00 予約不要
馬の博物館前に集合です